

農業実習を参観しました。

平成23年5月10日（火）



農業科1年は、火曜日と木曜日に、高原農場に実習に行きます。今日は3班のうち2班が行きました。



栽培班はメロンを植えるために、ボラをビニールハウスに運ぶ作業を時々降る雨の中行っていました。



ビニールハウスの中に運ばれたボラ（都城市高城産）は、メロン栽培の土壌づくりのために、底に敷き詰められていました。男女とも熱心に、一生懸命作業していました。メロンを植える前の土づくりからの苦労があつてこそ、美味しいメロンが出来上がるのです。大きく実ったメロンが楽しみです。



飼育班は、ちょうど牛舎の清掃が終わったところでした。おがくずを敷き詰め、えさも配置しました。



残りの1班は、学校でパン作りでした。パンが出来上がって、実習の記録を記入しているところでした。



初めてのパン作りでしたが、とても上手にできていたようです。今回はパン生地を手でこねて作ったそうです。できたばかりのあんパンを試食させてもらいましたが、ふかふかでとても美味しかったです。高原農場に行っていた級友の分も作ったそうで、昼食時間は今日の実習の話で盛り上がったことでしょう。



高原高校のビニールハウスを借りています。



ビニールハウス内には、すいかが植えられていました。



トマト（桃太郎）は、今日の実習で植えたばかりでした。



飼育の実習後、農場長の話を真剣に聞いていました。



牛舎の清掃中、牛たちは放牧され、木立で雨宿り



30㌔ぐらいで生まれた子牛は、3か月で100㌔以上に



上手にできたパンを手に、うれしそうにピース



女子はアンパンマン（上右から2番目）なども作りました

農業科のみんなは、高原農場でも本校の食品加工棟でも、実習を楽しんで行なっていました。その姿がとても爽やかでした。農業科の一期生が秀峰の農業の歴史をつくっていかうとする意欲を感じることができ、とても嬉しいでした。